

# かお・人・interview

2025年9月4日

団体長  
インタビュー



## 新体制が切り拓く 社会インフラ整備と 人材育成戦略

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 九州支部

稲山 泰治 支部長

建設コンサルタンツ協会九州支部では今年4月、新支部長に穂山泰治氏が就任。地域社会資本の整備や災害対策、デジタル技術活用による生産性向上など、さまざまな課題解決に挑む。老朽インフラ対応や頻発化する自然災害への対策、若手技術者育成に向けて、今後どのように業界を牽引していくのか話を伺う。

### 会長就任にあたっての抱負

九州・沖縄8県で、現在159社の会員数を擁し、50年以上にわたり会員相互並びに関係諸機関や地域の皆さまと連携しながら

ら、地域のさまざまな社会資本整備に関する課題と向き合ってきました。当支部では、会員企業の力を結集してこれらの諸課題の解決に挑戦し、環境に配慮した社会資本の整備並びにその活用に貢献していきたいと考えています。

### 協会の事業方針と主な取り組み

建設コンサルタンツ協会九州支部は、建設コンサルタンの事業環境整備と建設技術の向上を通じて、社会資本整備と地域発展に貢献することを目的とする団体です。

九州支部の活動は、大きく5つの運営方針を基に展開しています。

(1) 建設コンサルタンの一層の魅力向上に

のための技術革新とその普及、災害情報システムの整備が必要となります。また、インフラ整備の老朽化に対しては、適切な維持管理、長寿命化対策、適時更新等の再整備が急務となっています。

一方、少子化による担い手不足や建設投資が上昇しない現在において、建設コンサルタント業界は大きな転換期を迎えているといえます。特に九州では、担い手確保が最重要課題となっています。若い人材やベテラン技術者が入職して定着するように、業務量の確保と働き方改革を同時に進めていく必要があります。

私たち建設コンサルタントは、地域の特性とニーズに応じたインフラ整備を進めることで、地域の活性化や経済の発展に寄与するとともに、都市部と地域の格差是正に努めて社会に貢献していきたいと考えています。

### 今年度の事業計画

- ・ 激甚化・頻発化する自然災害や、インフラ設備老朽化による事故などに対応する社会的要請が高まるなか、建設業全般に関する法律の環境整備が進んでいます。
- ・ 労働基準法改正
- ・ 公共工事の品質確保の促進に関する法律等の一



▲土木遺産な旅 2025

県・市に対する要望  
建設コンサルタンツ協会九州支部は、本部と共同で国土交通省九州地方整備局および内閣府沖縄総合事務局に対して意見交換会を開催しています。合わせ

### 部を改正する法律 等

建設コンサルタンツ業界についても契約の厳格化や職場環境の改善に係る制度が構築されつつあり、これらの施策への対応力を向上させることも急務となっています。さらには、生活環境、自然環境、リサイクル促進等の環境配慮においても建設コンサルタントの役割・責任は重大と言えます。

このように、旧来の役割を再認識すると同時に、多様化・拡大する期待と要請を踏まえて、建設コンサルタンツ協会九州支部は、下記の目標を掲げています。

- ① 会員各社の安定経営のための環境づくり
- ② 担い手確保と育成
- ③ 社会的役割の達成と認知度の向上

これらの好循環を目指し、昨年度と同様に5つの運営方針を掲げその施策に取組みます。

- に向けた総合的な環境整備
  - (2) 技術力と品質の確保・向上の推進
  - (3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進
  - (4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底
  - (5) 会員であることによる便益向上の一層の推進
- 九州支部では、種々の活動を通じて建設コンサルタント業界の発展、ひいては九州全体のさらなる発展に貢献していきたいと考えています。

### 団体を担って意識していること

長年エネルギー業界で仕事をしてきたため、建設コンサルタントとしての実務経験がほとんどなく支部活動に関わることも初めてなので、取組内容をしっかりと勉強し、他の支部役員の支援、協力をいただいで職務を全うしたいと考えています。

また、さまざまな立場の多数の会員で構成されており、お互いに切磋琢磨して競争する面と補完して協力し合う部分があるため、透明性が高く公正な運営をすることを特に意識する必要があると考えています。

### 業務の課題と未来

近年における自然災害の激甚化やインフラ設備の老朽化による事故の頻発化により、建設コンサルタンツはこれまで以上に重要な社会的役割を担っていく必要があります。

自然災害に対しては、災害時に迅速に対応できる人材の育成、災害対策



て、九州支部単独で九州地方の自治体(政令指定都市を含む11自治体)と意見交換会を開催しています。

今年度の意見交換会では、以下をテーマとして「要望と提案」を提示する予定です。

- 1 担い手確保・育成のための環境整備
- 2 技術力による選定
- 3 品質の確保・向上
- 4 災害対応に向けた環境改善
- 5 DX推進の環境整備

### 趣味や健康法など

ウォーキングや読書が私の趣味です。なかでも歩く習慣は30年以上続けています。歩くことで、季節や街の小さな変化を発見できてリフレッシュにつながります。屋久島の縄文杉トレッキングコース(往復約22キロ)も参加したことがあり、現地で達成感と大自然の美しさを味わいました。普段も、足を動かすのが苦にならないため、会社のあ



PROFILE  
(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部長、西日本技術開発(株)代表取締役社長。山口県出身、70歳。